

甲府市^{うえ だいら}上の平遺跡 県指定史跡へ！

上の平遺跡は、甲府盆地南東の曾根丘陵上の眺望の良い台地上に位置しており、弥生時代後期の方形周溝墓が125基も見つかりました。曾根丘陵には、山梨県で一番大きな前方後円墳である国史跡銚子塚古墳をはじめとする大型古墳など、弥生時代後期から古墳時代の遺跡、墳墓が集中しています。

山梨県において古墳が造られる直前の様相を伝える貴重な遺跡として、令和4年3月に県指定史跡になりました。



発掘調査当時の上の平遺跡

元気モリモリ発掘調査

新町前遺跡 ^{しんまちまえ} 市川三郷町市川大門 古墳・弥生時代の新発見！

新町前遺跡は、県立青洲高校建設に伴って平成30年から調査を続けています。これまでわかっていた中世と平安時代の地層の下から、古墳時代と弥生時代の人々が暮らしていた痕跡が発見されました。

地元の方々の興味・関心が高く、現地説明会には、夏場の暑いなか100名を超える参加者がありました。皆さんに新町前遺跡を知っていただけて、担当者冥利に尽きます。



下向遺跡 ^{しもむこう} 笛吹市境川町三柵 坊ヶ峰のふもと

高さ約1mの崩れた石垣と、その周辺からお祈りに使われたと考えられている平安時代から鎌倉時代頃の土器が多数発見されました。また伝統的な釘（和釘）もたくさん発見されていて、近くにお堂のようなお祈りに関係する建物があった可能性があります。



みんなは静岡に行つてね！

二又第1遺跡 (C区) ^{ふたまただいいち} 中央市成島 中世庶民の生活が明らかに！

二又第1遺跡は、今から約600年前に営まれていた村落の遺跡です。発掘調査では、濠を巡らせる屋敷地を4軒分調査しました。区画内では、建物の柱穴や井戸、人骨が残る墓などが数多くの遺物とともに見つかりました。



中ページで紹介した遺跡の多くは
道新設に伴う発掘調査によって見つ
かったものです。普段意識しないかもし
れませんが、遺跡は遠い存在ではなく、
実は私たちの生活のそばにあるのです。
(も)

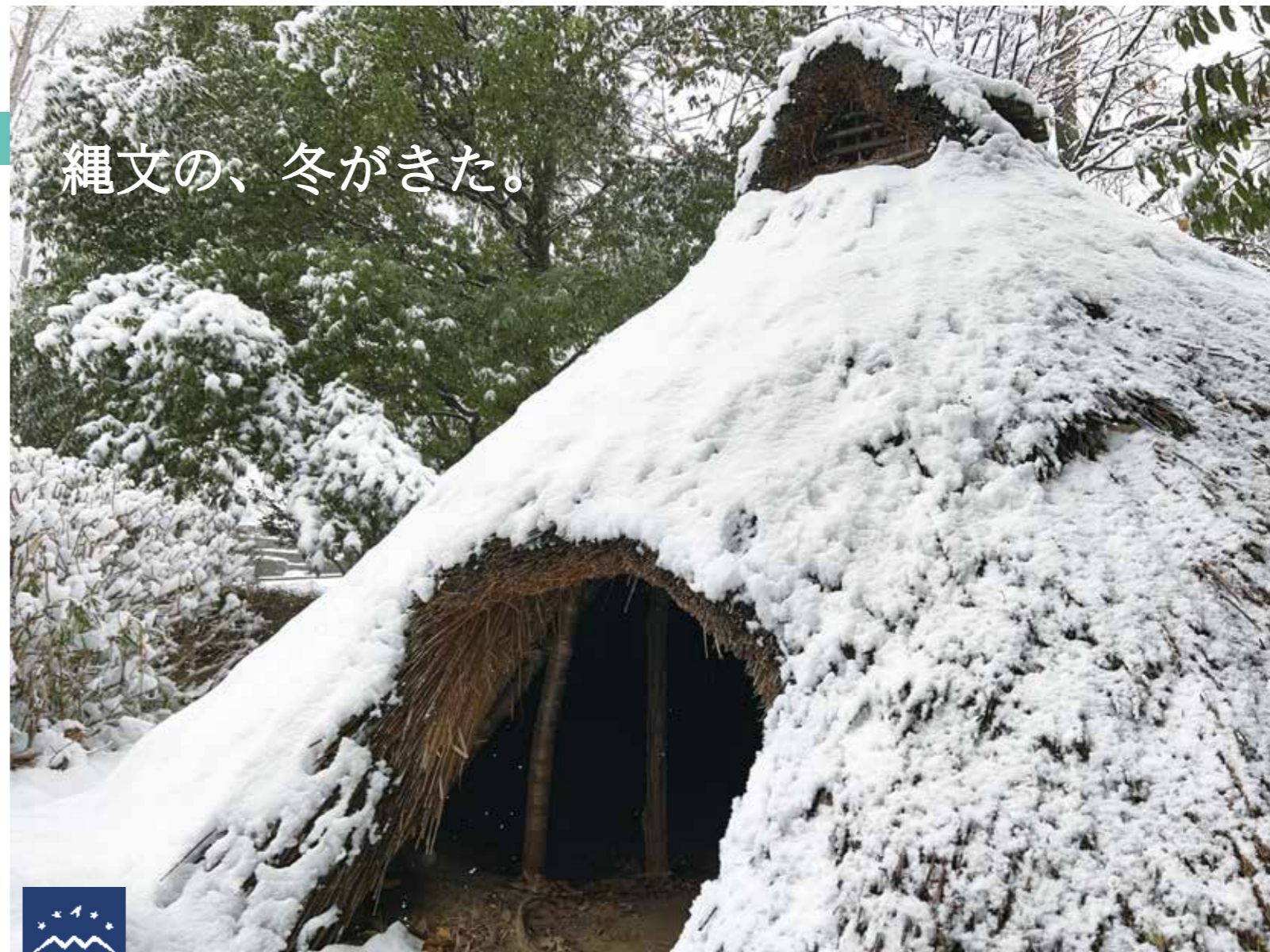


山梨県埋蔵文化財センター
ホームページ QRコード

埋文やまなし 第67号
発行 山梨県観光文化財埋蔵文化財センター
〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町9 2 3
☎ 055-266-3016

印刷 株式会社峡南堂印刷所

縄文の、冬がきた。



特集 日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」

舞台は、八ヶ岳を中心とした長野県諏訪地域と山梨県甲府盆地を囲む地域。これらの地域には、縄文時代の遺跡が多く存在します。特に、縄文時代前期頃からは、八ヶ岳山麓の周辺で人々が黒曜石の採掘をおこなっていました。山梨県は、その流通の拠点として多くの人々が行き交い、多くの集落が営まれたと考えられています。そうした背景のもと、中部高地では大型で装飾性の高い、芸術的な縄文土器や土偶が作られたのでしょうか。

今回の埋文やまなしは、日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」特集第2弾。1号分では入りきらなかった山梨県の縄文の魅力について、当センターが発掘調査した当時の写真とともにご紹介します。

ストーリーはこちら→
「星降る中部高地の縄文世界」公式サイト
<https://jomon.co>



ここでおさらい

縄文時代の時期区分



ワンポイント！山梨県の縄文遺跡は、前期～中期が一番多く見つかっています。

今回紹介する遺跡の位置



山梨の縄文時代チョーざっくり説明

山梨県の縄文時代は、前期から北杜市などの峡北地域や甲州市、笛吹市などの峡東地域を中心に遺跡数が増えていきます。これらの遺跡からは地元のもののほかに東北地方や関西地方など、遠い地域のもが見つかり、遠く離れた地域と活発な交流があったことがうかがえます。

そして、中期になると遺跡数は爆発的に増加し、装飾性の高い美しくダイナミックな土器たちが生み出されました。

甲ッ原遺跡

所在地：北杜市大泉町 調査期間：1989年～1997年の間に7回 現在：県道28号八ヶ岳公園線
主な時期：縄文前期～中期（今から約6,000～4,500年前）

八ヶ岳山麓の集落跡。縄文前期から集落が営まれ、71軒の竪穴住居跡が発掘されました。250号土坑や302号土坑からは中期初頭の縄文土器とともにコハクの玉（ビーズ）が見つかりました。

科学分析の結果、これらのコハクは福島県いわき市のものである可能性が高いことがわかりました。

約5,500年前に甲ッ原遺跡の人々はどのようにして福島のコハクを手に入れたのでしょうか。なんだかロマンがありますよね。

調査担当者のひとこと思ひ出

by N課長

当時の大泉村が隣で調査していた調査区でヒスイの小玉がたくさん入れられた土坑が見つかり、とても衝撃を受けました。あとちょっとズレていたら、自分が調査できたのに！惜しかった～！



遠くの人たちと交流していたんだね

海道前C遺跡

所在地：北杜市高根町 調査期間：1995年 現在：国道141号線（箕輪バイパス）
主な時期：縄文中期（今から約4,500年前）

八ヶ岳山麓の集落跡。この遺跡で特に有名なのは、土器自体を人体に見立て、妊婦や出産のシーンを表現したと考えられる「出産文土器」。なんと、石棒と人面装飾付土器が同じ67号土坑から見つかっています。母性を思わせる出産文土器と石棒が同じところに収められているなんて…なんだか縄文時代の物語を感じませんか？

67号土坑が埋まった過程を調べるための壁を掘り下げたら人面装飾付土器が出てきました。

調査担当者のひとこと思ひ出

by T課長

遺構が多く、とにかく足の踏み場もないほどたくさん遺物が出たのでとてもえらかった（えらい＝甲州弁の「大変」という意味）。



私が逆さまに埋まっています。

この土坑から出土した資料4点は山梨県の有形文化財に指定されています。

桂野遺跡

所在地：笛吹市御坂町 調査期間：1996年～1998年 現在：国道137号線（上黒駒バイパス）
主な時期：縄文前期～中期（今から約5,500年前～5,000年前）

桂野台地のゆるやかな斜面に広がる集落跡です。57号土坑からは、縄文前期の地元の土器とともに関西系の土器が出土しました。また、この土坑からは頭が少しだけ立体的な板状の土偶も見つかりました。中期の立体的な土偶へつながる、重要な資料として知られています。

当時の

調査担当者のひとこと思ひ出

by Nリーダー

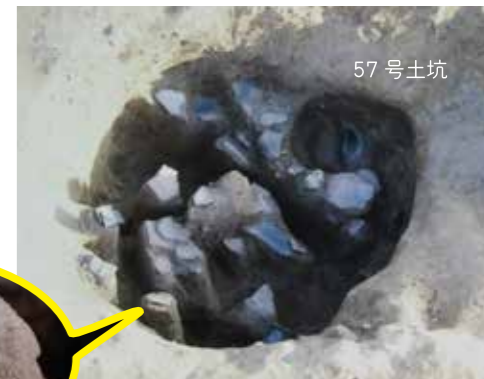
不思議な57号土坑。板状の出土品（前期土偶）を取り上げてそっと裏を見ると、なんとネコの肉球のようなものが…ほかにも関西系土器が見つかり、ネコ好き＆学生時代を関西で過ごした私には心躍る調査でした！

立体的に作るぞ～

前期の板状土偶

後ろ姿

ネコの手みた～い



57号土坑



桂野遺跡から見た甲府盆地

殿林遺跡

所在地：甲州市上萩原 発見：1962年 主な時期：縄文中期（今から約4,500年前）

右の写真の土器は、土地所有者が畑の耕作中に偶然発見したものです。出土状態は諸説あるものの、発見時は2個並べて伏せて置かれてあり、底部には人頭大の石か土器の底部が乗せられていたそうです。

その後、周辺地域の発掘調査が行われましたが、住居跡等は発見されませんでした。そのため、集落から離れた特殊遺構に伴う土器と考えられています。

当時の

調査担当者のひとこと思ひ出

by O先生

土器が発見された当時は小学生で、殿林遺跡を含めその周辺で上川名昭氏による縄文時代の遺跡の発掘調査が活発に行われており、彼らの調査を見学したことをよく覚えています。思い出深い土器です。

国指定重要文化財



撮影：小川忠博

牛糞みはらしの丘から殿林遺跡方面をのぞむ



塩ノ山

殿林遺跡方面

もっと知りたい方は、当センターHP「遺跡トピックス」をチェック！

山の洲文化財交流事業

山梨県、静岡県、長野県、新潟県の中央日本4県の広域経済圏形成に向けた取組の一環として、令和3年度から文化財交流事業をおこなっています。

昨年度は静岡県との交流事業でしたが、今年度は新たに長野県が加わります。

山梨県立考古博物館と静岡県立美術館の展示に合わせ、当センターも各地でイベントを開催しました！

縄文 ZINE 14号 山梨と静岡の縄文特集号！

富士山麓の縄文人をメインに特集を組んでいただきました。山梨の縄文はもちろん優れていますが、静岡の縄文もとっても魅力的です。

今号に限り、いつもの配布場所だけではなく、山梨県内の図書館や観光施設等でも配布しています。

また、当センターのイベント時にも配布しますので、ぜひご入手ください！



※通常の配布場所は縄文 ZINE のホームページをご確認ください。

マスキングテープ

山梨の縄文オリジナルグッズ！
プレゼント企画も要チェック

※2023年1月いっぱいまで

アクリルコースター